

I. 令和5年度事業報告

1. シン・ヤマナシ構築委員会

委員長 長澤重俊

令和5年度のシン・ヤマナシ構築委員会は①シン無尽部会、②リニア・中部横断道部会、③勉強会部会という3つの部会によって運営してきました。

昨年度の8月1日に長崎知事に手交した4年ぶりの提言「シン・ヤマナシの実現に向けて」を経済同友会としても自ら推進することを念頭に活動してきました。まず当会が喜業家を支えるエンハンス機能として提案したシン無尽を山梨の新たな文化にするべくシン無尽部会を立ち上げました。また勉強会部会もこれまでの提言部会へのインプット機能はその役割を一旦終えたため、シン無尽的に勉強会を行う方向で活動しました。

またリニア・中部横断道部会では引き続き山梨大学・武藤先生とも連携して、令和5年7月には中部横断道北部区間開通の経済効果について記者発表するなど積極的な活動を行いこの区間開通への意欲醸成へ貢献しました。

(1) シン無尽部会 活動報告

部会長：長澤重俊

メンバー：雨宮潔、小澤健太郎、奈良田伸司、山寺雅彦、宮崎順子、五十嵐墨

◇活動の概要

令和5年8月1日に山梨県・長崎知事に手交した提言の目的は「若者が幸せに暮らせる山梨にする」ことであり、その主題として山梨県全体に「喜業家」を溢れさせていくことを目指すことにしました。造語である喜業家とは、「楽しみながら事業を起こす、あるいは参画、支援する事業者・個人」を指し、山梨県の特長でもある人と人の濃いつながり、ネットワークをベースにするものです。

令和5年度はこの提言を自らの手でその実現にも貢献していこう、ということで、喜業家を支える人と人のつながりを作っていく為にエンハンス機能として提案したシン無尽を山梨の新たな文化とすることを目的に部会を運営しました。

当初方向性を探るために準備委員会として3回活動しましたが、その中で単発的なシン無尽の隨時開催もありうるが、当部会としては何か象徴的な活動として大規模なシン無尽が開催できないだろうか、という結論に至ったところです。そこで令和6年11月に予定されていた中央日本地区会議の山梨開催にお

いてシン無尽の考え方を生かした会の運営を行うことで情報発信にしていこう、ということになり、中央日本地区会議実行委員にその活動の中心を置いて行く形となりました。

◇活動実績報告

■準備委員会

- ・12月22日 第1回準備委員会 於：山梨文化会館
- ・1月19日 第2回準備委員会 於：山梨文化会館
- ・4月9日 第3回準備委員会 於：山梨文化会館
※中央日本地区会議の山梨開催との関係を整理した
- ・5月30日 第1回会議会場（実行委員）部会 於：山梨文化会館



- ・9月13日 第2回会議会場（実行委員）部会 於：山梨文化会館



以上

(2) リニア中部横断道部会 活動報告

部会長 宮田雅夫

昨年度から「リニア部会」「中部横断道部会」を統合し、リニア中部横断道部会として活動を行い、令和5年7月11日に「中部横断自動車道北部区間（長坂～佐久・小諸間）の開通による整備効果」と題して、山梨大学・山梨経済同友会・中部横断自動車道経済懇談会の3者にて、山梨県73.5億円/年（総便益297億円/年）と経済効果ありとの共同発表を行いました。その後、今年度の部会活動については、入倉代表、長澤代表参加のもと、以下のとおり方針を決定し、活動を行いました。

なお、部会を牽引されてきた五領田周司氏の後任として、4月より宮田雅夫が部会長をお引き受けすることになりました。五領田氏のこれまでの活動功績に感謝申し上げるとともに、今後も同様に部会メンバーと一緒に、同友会活動を盛り上げていく所存です。今後ともご協力よろしくお願ひ申し上げます。

◇今年度の活動方針

今年度についても引き続き、山梨大学（武藤慎一教授）および国交省との相互連携を深めながら、リニア中央新幹線については二次交通整備による“地域づくりと持続的な経済発展”を勉強し、中部横断道については“開通効果”を県内外のイメージアップにも繋げられるよう、県内インフラ整備促進のための課題研究を行って、観光誘致・移住定住の促進を図りつつ、山梨県経済の未来の発展に繋げる為の活動を行うこととしました。

具体的には、山梨県にとってまたとないビッグプロジェクトであるリニアや中部横断道の整備進捗状況等を見ながら、行政（山梨県・県内各市区町村、隣接県や国交省など）の動きを捉え、行政や大学の関係者などと、同友会会員の勉強会・意見交換会を志向していくことと、将来の在り方について、同友会提言に結び付けていくことを当初の方針としました。

◇今年度の活動報告

部会長：宮田雅夫（前部会長：五領田周司（R5.10～R6.3月））

メンバー：志村浩男、依田光人、勝岡伸圭（大嶋敬史（R5.10～R6.6月）、飯島禎典、小澤健太郎

■リニアについては「リニアの魅力や未来創造的価値の発信」にむけて、行政や大学の関係者との議論を踏まえながら、私ども同友会の考える生産的なアドバイスやアイディアを示していくための勉強会開催の検討を行ってきました。

■中部横断道については、未開通となっている北部区間（長坂～八千穂間40キロ）の整備促進のため、昨年7月11日「整備効果共同記者発表」を行いました。引き続いて7月18日国交省より「詳細ルート案」が発表され、事業化に向けて行政も動きだしたことから、部会として、逐次状況・推移を注視しつつ、同時に長野方面関係者との協力体制も考慮に入れながら、全線開通効果を最大化するための知恵を絞った取

り組みについて検討を行って来ました。

■令和6年2月7日（水） 山梨大学との意見交換会を実施

山梨大学：武藤慎一教授、近藤英一教授、伊澤さん（劉星委特任教授代理）

同友会：入倉、長澤、五領田、志村、小澤、深沢各氏

内容：中部横断道北部区間の整備を見据える中で、改めて南部区間の経済効果計測を実施し、同友会との共同記者発表の形で進めていく。

更には、リニア新駅開業をプラスした経済効果の計測・発表も視野に入れていくようしたい。

■7月29日（月） リニア中部横断道部会のスタッフ会議を実施

山梨大学：武藤慎一教授

同友会：入倉、長澤、宮田（新任）、志村、飯島、勝岡（新任）、依田、深沢各氏

内容：来期の活動と中央日本地区会議（R6.11.8.）についての意見交換

リニアについては、代表幹事や各メンバーの人脈により、現在の行政検討状況について関係者にヒアリングを実施し、本部会としての提言の方向性を詰めていくこととした。

中央日本地区会議については、当日のロジや課題などを共有した。



◇来年度の活動計画

■中部横断道について

北部区間は経済効果ありという形で一定の評価ができたことから、今年度活動と同様に、今後、南部区間を含めた全線開通効果の再計測を実施（武藤教授）し、共同記者発表の形で進めていく計画を進めて参ります。また、リニア新駅周辺開発の動きと連動しながら、交通インフラ整備全体がもたらす経済効果についても検討の準備を進めて参ります。

■リニア中央新幹線について

静岡県知事の交代により、リニアの開業に向けた進展の動きが出て来ていると認識しています。3なし県（港がない、新幹線がない、空港がない）の山梨県においては、リニア開通により東京や名古屋との距離感（時短）を考え、定住人口とインバウンドの増加（経済発展＝人口増にあり）を目的に、リニア新駅とその周辺開発や交通網整備などで、どのような打ち手を講じることが山梨県の発展に寄与できるのかを同友会として考え、提言できればと思っているところです。

具体的には、山梨県が進める「空の移動革命・社会実装推進ネットワーク」や甲府市が進める「(仮称) リニア山梨県駅前エリアのまちづくり基本計画検討委員会」、更には「リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会」などの各種団体の動向について、部会メンバーの人脈を活用しながら、各関係者への情報収集を行いつつ、「街づくりの基本コンセプト作り」や二次交通実行策の検討を行い、提言まで繋げられるよう、本部会の活動を行って参ります。

以上

(3) 勉強会部会活動報告

部会長 泉脇康展

部会では「シン・無尽部会」と連携し、山梨経済同友会会員企業の若手・中堅社員の間で意見交換会を開催しました。山梨県の発展の為に出来る事を若者ならではのアイデアを出し合い、地域の課題や可能性を考える貴重な会となりました。

① 第一回若手・中堅社員意見交換会

日時 令和6年5月29日（木） 16:00-18:00（意見交換会）

18:30-20:30（懇親会）

場所 CROSS 500 5階 SMBC ホール

出席者 モデレーター 泉脇

若手・中堅社員（26名）

山梨経済同友会

入倉代表幹事、山寺、雨宮、田中、佐川、杉原、宮崎、奈良田、五十嵐（敬称略）

内容 「やまなしあなたはどうしたい」をテーマにワールドカフェ形式のディスカッション

- ・現状の山梨の課題、ありたい姿、あったらうれしい「企画」「施設」「取組」
- ・課題について自分たちに何ができるか
- ・各班の発表



② 第二回若手・中堅意見交換会

日時 令和6年6月6日（水） 16：00－18：00（意見交換会）

18：30－20：30（懇親会）

場所 CROSS 500 5階 SMBC ホール

出席者 モデレーター 泉脇

若手・中堅社員（24名）

山梨経済同友会

上原、西尾、井内、國見、杉原、坂井（敬称略）

内容 「やまなしあなたはどうしたい」をテーマにワールドカフェ形式のディスカッション

- ・現状の山梨の課題、ありたい姿、あったらうれしい「企画」「施設」「取組」
- ・課題について自分たちに何が出来るか
- ・各班の発表



【今後の取組について】

勉強会部会は今後「シン・無尽部会」として活動することとなりました。

シン・無尽部会の最初の取組みは、前回好評であった若手・中堅社員意見交換会を若干スケールアップして10月16日にシャトレーゼ談露館で開催予定です。内容は「山梨の人口をいかにふやすか」「街の活性化」となっており、山梨を盛り上げる起点となればと期待しています。

このような企画を徐々に広げていき、シン・無尽の会がいたるところで開催されることを目標として活動していきたいと思います。